

平成 30 年度 第 3 回河津町学校教育環境整備委員会会議録

日 時	平成 30 年 9 月 12 日 (水) 19 時 00 分から 20 時 27 分まで
場 所	文化の家 生涯学習室
出欠席者	委員 19 名中 18 名出席・1 名欠席 教育委員会教育長・事務局 3 名出席
傍聴者	1 名
<p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 (事務局長) 2. 教育長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 議 事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 河津町学校教育環境整備委員会の継続審議について <p>資 料</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 要望カード集計(全体)の分析について (資料 1 P1～P3) ② 平成 30 年 8 月 31 日現在の年度別人数について (資料 2 P4) ③ 要望カード (全体) について(別添) 2) その他 5. 今後の予定について <p>次回は平成 30 年 11 月 14 日(水)午後 19 時 00 分から 文化の家生涯学習室を予定</p> 6. 閉 会 (副会長) <p style="text-align: right;">以上</p>	

事務局長)

次第 1 開会

本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。本委員会は、河津町学校教育環境整備委員会設置規則第 6 条第 2 項の規定により、委員数 19 名中 18 名の委員が出席しておりますので本委員会は成立いたしました。

それでは、定刻となりましたので、ただいまより平成 30 年度第 3 回河津町学校教育環境整備委員会を開催いたします。

次第 2 教育長挨拶

開会にあたり、教育長よりごあいさつ申し上げます。それでは、教育長お願いします。

教育長)

それぞれ皆様お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。3月から4回目の会合となりました。ところで、先月のこととなりますが、8月の下旬に河津町学校教育環境整備委員会との懇談会を開催しました。8月27日から8月31日までに4回、8月27日は見高浜公民館、8月28日は湯ヶ野基幹集落センター、8月30日・31日はふれあいホールで実施しました。この中にいる委員の方々にもご参加いただき、重ねてお礼申しあげます。懇談会を通して、ご参加いただいた方から様々な意見をいただきましたが、私が一つ印象に残っているのは、3回目に懇談会を終了してから70才を越えた年配の女性の方が、「ショックでした。」と一言感想を私に下さいました。なにがショックだったんですかと伺ったら、少子化・少子化と聞いていましたが、こんなに河津町の子供の数が少なくなっている事とは思わなかったとおっしゃっていました。そこで戻ってから、河津町の戦後からの児童数の変遷を調べてみました。戦後一番児童数多かった年は、昭和20年で終戦の年でした。東小には全校児童で419名、西小には全校児童で827名、南小には全校児童で798名でした。昭和20年の段階でこれだけの児童数があることが分かりました。そうした時代を過ごしてこられた御婦人の方は、自分の時代と比べて「えっ」と言うふうに思われたんだろうなと言う様に考えました。委員の皆様にはこれから、ここの委員会の総意をまとめて答申に盛り込む作業をお願いする事になるのだろうと思っています。慎重な審議をよろしくお願いして、あいさつとします。よろしくお願いします。

事務局長)

ありがとうございました。

次第3 会長あいさつ

⑮会長よりごあいさつをお願いします。

⑮会長)

こんばんは。昔から暑さ寒さも彼岸までと言いますけれど、急激に冷え込んでおります。皆様お身体を大切にと思っています。今懇談会に出た感想と言う形で教育長が話をされていました。私は高校畑なので、「おぎゃ」と生まれた方が15年後に高校生です。20年30年先まで当然生まれてくる子供たちを予測するという事が仕事でもありました。そうは言っても、30年後の事までは、今の生活をしている人たちは、入れられないとか考えないという事です。したがって先程は話がありました。「ショックでした。」という言葉がやはり実感を伴っていると思います。ただ私たちは将来の事を考えなければいけません。今の生活を大事にしながら、将来に向けてそろそろ答申を具体的にどういうふうにまとめたらいいか、皆様の忌憚のないご意見、これを伺って行ければなと思っています。よろしくお願いします。

事務局長)

ありがとうございました。

議事に入る前に前回の会議資料に誤りがありました。訂正箇所は、「学校施設等の建築年次耐用年数」のところで、河津中学校の体育館は、築年数が「58年」と記載しましたが「38年」の誤りですので訂正願います。誠にすみませんでした。

それでは、次第4 議事に入ります、これからの議事進行は、⑮会長をお願いします。

⑮議長)

議事は、1) と 2) になっておりますが、まず 1) 河津町学校教育環境整備委員会の継続審議について、資料がこの前の懇談会の資料を含めて要望カードが集まっておりますので、それを事務局から報告をお願いします。

教育長)

グラフのある資料1と資料2をお願いします。まず資料1は、4回おこなった懇談会でいただいた要望カードの結果を足して集計したグラフです。総数で154通の要望カードをいただきました。「要統合」と書いていただいた方は、全体の81%に上がりました。「要現状」は、全体の5%です。それぞれ施設別の数をそこにいれました。懇談会の数は、どこに入れたかと言いますと懇談会を開催した場所でいれてあります。例えば、ふれあいホールは、南小に入れてありますし、湯ヶ野基幹集落センターの場合は、西小に、見高浜公民館は、東小にそれぞれ数字を合わせて記載しました。そうして、地区別の受領数を見ていきますと、それぞれ地区別もほかに増えて、地区別にはそういうふうな結果となりました。年代別も20代の方も増え、70代の方も入り幅広くなってきました。男女別の受領数で行きますと女性の方が圧倒的に多いです。その中で、男性が42通ありました。「要統合」を希望する男性は93%、女性は76%です。「要現状」を希望する男性は2%、女性は6%の傾向でした。要望カードの記述は次のとおりの意見がありました。(1) 統合を望む主な理由として次のとおりです。・より多くの仲間と学習させたい。1学級あたりの適正人数がある。(大多数)・幼稚園が統合されていて、卒園後、小学校が分かれるのは不自然。(多数)・児童数が少なくなってきた現状では、残念だが統合した方がよい。(大多数)・多くの友だちに交わり、多様な考えに触れることができる。学習にも生きる。(多数)・それぞれの学校の特色を生かしながら統合すべき。・津波の心配のない安全な場所に統合移転をする必要がある。・幼稚園、中学校のありようも含めた中で小学校の統合を考えたい。・学校は授業だけではなく、学級活動や児童会活動、委員会活動もあるので、今後の児童数ではそうした活動で育つものを学ばない。・条件を整えば統合はやむを得ない。(多数)【通学バスの運行、複数学級の解消、駐車場確保、幼稚園の併設、伝統の学校行事継続など】・現状でも少ない小学生をあえて3分割する必要はない。・小中一貫校など新しい学校のありかたを構想すべき。・人間関係の固定化を避けるためにも人数

は多い方がよい。・財政面から考えても統合した方がよい。・全体で30名を割り込む学年が生じているのに小学校3つは必要ない。と括れば同じような意見もありますがそんな理由です。それに対して、(2) 現状維持を望む主な理由は、・少人数の方が児童に目が届く。・きめ細かな指導ができる。・学校の伝統行事がなくなる。(白馬交流・梅採りなど)・少人数の方が児童相互に濃密な関係が生まれる。・自宅から歩いて通えるところに学校はあって欲しい。・学校がある、子どもがいるということが地域の活性化にもつながると思う。それらが現状維持を望む主な理由です。(3) その他の意見は、子どもの教育環境の事を考えると、こういう事を大事にしてくださいと願いのもとに書かれておりました。・子どものよりよい教育環境を考えて行ってほしい。・よい授業を行ってください。・メリット、デメリットを明確にしていきたい。・子どもたちの安全を第一に考えて欲しい。・委員の皆さんでより良い方向を考えて下さい。・自然と触れ合う行事を増やす。・今まで以上に先生が子ども一人一人と触れ合ってほしい。・他の人と意見が違っても堂々と発言できる子どもになって欲しい。この様な意見がありました。これが要望カードから見えてきた集計の結果です。それは審議の参考にしていただきたいと思えます。次に資料2は、平成29年度までは、出生数は決まっています提出もしておりますが、平成30年8月31日までの子どもたちの出生数は、14人です。地区別では、この表のとおりとなっております。これは、学区別にも分けてあります。学区で言えば、南小学区が10名、東小学区が2名、西小学区が2名です。下の折れ線グラフは、数字を入れて記載したもので参考にしてください。別添、要望カードの集計は、懇談会にいただいたものも合わせて記載してありますが、ただ整理の関係で、番号が400番台ですとか500番台がありますが、500枚もらっている訳ではありません。例えば、幼稚園は1番台、東小学校は100番台、南小学校は200番台と言うふうに分類をしてあります。

⑮議長)

ありがとうございました。要望カードは懇談会のまとめたものと合わせて、当日私を始め委員の方へ出席されておりますので、委員の方からも感想等を一言ずつお話をさせていただければと思います。⑭委員と⑮副委員長が出席されておりましたのでお願いします。⑭委員から特に感想があればお願いします。

⑭委員)

最後の日は、出席できませんでした。3回出席しましたが思ったより出席者が少なかった気がしました。ただ、見高浜公民館と湯ヶ野基幹集落センターの2箇所の懇談会の中に、平成18年の時の統合検討委員会の委員がおりました。当時は統合という流れがほとんど出来ていたと話を両方とも聞きました。もしそれが現実していたら今どの位進んだのかと気がしました。今回懇談会に出席した中で、比較的統合に積極的や消極的があるかと思いますが、統合して欲しいという意見が多かったかなと気がしま

した。

⑮議長)

ありがとうございました。次に⑬副委員長お願いします。

⑬副委員長)

今、⑭委員からお話がありました。見高浜公民館と湯ヶ野基幹集落センターにかつての委員がおりました。その時より大分少子化が進んでいるぞという事で、統合しなくてはならないなと言う意見でした。また、ふれあいホールで8月30・31日と2日間行いましたが、1日目はだいたい他のところと同じ流れでしたが、最終日は各地区に出席できなかった方がいたと思いますが、東小学区の方や西小学区の方も南小学区の方もいらっしゃって、意見交換を行いました。比較的保護者が中心で、大分いろいろな意見が出てきました。小さい学校だからこそ生かした事をしてほしい。昭和の時代の1学級40人を詰め込む様な発想で物事を考えてほしくないとの意見が一つありました。今の学校の良さを継続してほしい。何で複式が駄目なんですかとこの意見もありました。複式学級の良さも考えて行ってほしいなどの意見もありました。中には、学区を自分で選んではいけないのかとの意見もありました。例えば、南小学区の方が、西小の教育に賛同して、西小に通えないのか。あるいは、逆に西小から南小へ通えないのかというような学区についての疑問が出され意見もありました。答申を創って行く作業において、大きな方向で今の0才児から2才児あたりが小学校や中学校に通う頃には、全部集めても1学級は仕方がないなという認識でした。そこに行くまでに、複式学級になっても、何とか学校を運営しながら、やがて統合に向けて収束していく方向になるのか、それとも急いでやれと言う意見もありますので、急いで統合を進めるのかと、皆様の意見を聞く中で、いろいろ迷うようなところも出てきたように思われます。ただ教育長がたびたび言われているように、慎重に審議を進めていくようにと大前提であったと思いますので、そんな事も考えながら、行程を考えなくて行かなくてはいけなかなと感想として思いました。

⑮議長)

ありがとうございました。

事務局長何かありますか。

事務局長)

懇談会の出席者の報告をします。全体で39名の参加がございました。内訳は、1日目の見高浜公民館は12名、2日目の湯ヶ野基幹集落センターは9名、3日目のふれあいホールは10名、4日目のふれあいホールは10名でした。合計数と内訳数の人数が異なりますのは、同じ人が重複して参加していますので、その方を除くと39名の参加と

なります。

⑮議長)

ありがとうございました。数の多い少ないは大事なのですが、その裏にある地域の方々の思いを皆様に想像と言いますか、話を聞いていただく前に最終的に委員皆様のご意見を基本にして、答申をまとめて行きたいと思っております。これからの予定ですが、全委員 1 回ずつの発言をいただき、その後に追加のご意見をいただいて、今後答申を最低でも 2 回を全体場で、文言等の内容を創って行きたいと思っております。今からのご意見は、今までの統合の是非を含めながら、もし統合する統合しないに関わらず、河津町学校教育環境整備委員の立場で、今後の子ども達の事を考えた時にどういう視点が子どもの将来に一番大事なのか、その辺のことを一言ずつでも付け加えてご発言いただきたいと、そんなふうに思っております。その後答申後のスケジュールについて、事務局の方からご発言求めますけれど、だいたいこんなふうに委員会を進めていきたいと思っております。

それでは、⑧委員から意見をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

⑧委員)

自分は、最初から言っているように統合に向けた進め方をしていくとしています。その中で、いろいろあるんですが、安全安心を第一に考えていただく事、校舎の立地条件の事、後は各小学校の伝統行事等を盛り込んだものやっていたら統合、そういうものが出来ないとすれば、統合は無理なのではないかという感じになってくるのではないかと思います。まずは統合という形で、いろいろな条件をクリアしたもので答申を持っていったらと思います。

⑮議長)

ありがとうございました。それで⑩委員お願いしますという所ですが、現職ですのですので、立場上統合の是非についての発言は難しいです。それも踏まえてもし統合する統合しないに関わらず、委員会の主旨でもあります、将来の子ども達にどういう観点どういうものを生かしたら、今後の子ども達の教育・成長にプラスになるかその辺をご意見いただければと思います。それでは⑩委員お願いします。

⑩委員)

大変難しい課題を頂いたので、短時間で述べるのは難しいですが、先程も話に出ていましたように複式がいけないのかという疑問を持たれている方もおりましたのが、小規模であっても大規模であってもそれぞれの学校の良さや課題となる点がありますので、複式に関してもメリット・デメリットがあると考えています。統合に関しても統合して、良い点・課題となる点も勿論出てくると思いますので、どちらが良いとい

う判断は難しいと思いますが、子ども達の事を考える・未来の河津町の事を考えると
言った時に、やはり今育っている子ども達が河津でいいなって思って故郷を守って行
きたいとか、故郷を大事にしたいという思いになるような教育をそれぞれの学校で今
もやっていると思いますし、これからもやって行けたらいいなと思います。それにふ
さわしい子ども達の小学校のあり方と言う様な事をこの会議の中で決めていけたらな
と思います。それに参考となるが、今日丁寧に説明していただいた資料なのかなと思
います。学校としては、今ある学校の中で、最大限に地区の良さを生かしたりとか、
学校規模の良さを生かしたりとか、それぞれの学校でやっていますので今後も続けて
行きたいなと思っています。

⑮議長)

ありがとうございました。地区との結びつきと言うのは、故郷を大事にと言うこれ
がキーワードかなと思います。続いて③委員お願いします。

③委員)

自分も統合の方で、考えて行ってもらえればなと思っています。河津町の良さを学
校で教わりながら、多分ずっとこのまま子どもが少なくなっていくと、最初に言われ
た戦後には、何百人もいた子ども達が、今は20数名になっている現状で何とかこの子
達がここに残れるような、自分も一度外に出ましたがやはり戻ってこられるためには、
少し話が違つかもしれませんが、就職口があれば子育てが代々続いて行くのではない
のかなと思ったりしますので、まずはこの人数から見るとやはり統合の方向で、幼稚
園も中学校も1園・1校で行っている中で、小学校も1校でやって行ったらいいのでは
ないかなと思います。出来れば河津で育って、河津に戻ってこられると言う様な事
になってくればいいのではないかと思います。

⑮議長)

ありがとうございました。続いて⑮委員お願いします。

⑮委員)

私も統合の方の意見なんです。少ない人数の中であえて3分割する必要がないと
統合を望む主な理由の中にあつたと思いますが、先程⑧委員も言われたように統合の
メリット・デメリットがあるとそんな話もあつたと思いますが、その事を考えながら
統合する方向でと、言葉がうまく言えないんですけど、そんな意見で考えています。

⑮議長)

ありがとうございました。続いて⑮委員お願いします。

⑭委員)

私も統合する方向に賛成で、やっぱりメリット・デメリットあると思いますが、安全で安心出来る場所に少しでも子ども達が学べる環境を作ってあげられればいいかなって思います。

⑮議長)

ありがとうございました。続いて⑤委員お願いします。

⑤委員)

初めの頃は、私はいろいろな意見を聞いてじっくり考えて決めて行けばいいかなと思ったんですが、委員会を重ねるごとに少子化の方が進んで統合の方がいいという意見も多いので、私も統合の事を考えてゆくゆくは全体で20人位になるようなので、早急にと言う意見もありますが、余裕を持って期間を決めて少しずつ、この場所に建てた方が良いかとか、いろいろ細かい所を決めて行っていけば、私はいいかなって思います。いろいろと細かい事も入れて決めることがあるかと思いますが、まずは統合に向けて少しずつ決めていけば良いかと思います。

⑮議長)

ありがとうございました。今の立地とか場所というのは、どこに建てるかそういう事ですか。

⑤委員)

そうですね。

⑮議長)

そこまでは、諮問されていません。諮問されているのが統合をどうするかというスタートで始まっておりますので、次のステップになろうかと思います。その辺は事務局よりあるかと思います。続いて、④委員お願いします。

④委員)

いろいろ話がありますが、すいません。⑨委員よろしいですか。白馬小との交流がありますが、今年白馬小から何人位児童が来ましたか、分かりますでしょうか。10人とか15人とか20人とかですか。

⑨委員)

そうですね。15人程度です。

④委員)

1 学年で 15 人位ですか。

⑨委員)

そうですね。20 人はいなかったと思います。

④委員)

1 学年で 20 人はいなかったくらいですか。ありがとうございます。

⑮議長)

白馬村も少子化が進んでいます。

④委員)

そうですね。資料 2 のリストを見ていると、東小学校ですと 1 学級 9 人・10 人・6 人のところもありますが、白馬小の方が児童数が多い事を考えると、迎える側の人数が多い方が良いのではないかという事を考え併せると、別に東小だけではなく、南小と合併あるいは、西小と合併したうえで、みんなで河津は楽しい所だよというふうに交流していけば良いのではないかと思います。まず合併をした方が良いのではないですかというのが主張の始まりなんですけれど、白馬小との交流とかというのも、合併した新しい「河津小学校」で交流していく事も出来るし、西小の梅取りなんかの人数がいた方が、一本の木を 3 人で作業を行うよりも、5 人 10 人で作業をした方が楽になるのではないかという事です。伝統は残す形で、でも合併はしていくと考えるのであればいいのではないか。それから学校の場所なんですけど、例えば東小の児童が東小学校に集まって、みんなバスに乗って南小に移動するとか、あるいは逆に南小の児童が南小学校に集まって、バスに乗って移動して東小の校舎を使用するという様に具体的にどういうふうにやっていくかを考えて行けば、南小の 3 年生を全員東小の 3 年生と合流して、東小の 3 年生の教室を使い全員 1 年間勉強をするとか、少ない所もありますが合併が前提として、その上でどの様にやって行けばいいのかという所まで考えて行ってもいいのではないかと私は思います。それから湯ヶ野基幹集落センターとふれあいホールの 2 日間出席いたしましたけれど、特に 2 回目のところで話を伺いましたが、以前、縄地と逆川に昭和 30 年代に分校があったそうですけれど、複式学級を行っていた時は、授業が分かる子は 1 年生の子が 2 年生の授業を聞いて、1 年生と 2 年生の授業を全部わかったうえで、2 年生の授業をもう一回聞き直して、よく理解した上で 3 年生に行けるので凄く楽という人もいたり、逆に 2 年生の子なのに 1 年生の授業が何となく分かったころに 3 年生に行くと 1 年間全部飛ばされて何にも分からないまま授業についていけなくて、学校に行くのが嫌だという子もいたりするという話も聞きました。複式学級はいい所もあるんですが、あまりいい話を聞かないなという事を聞きま

した。その事を踏まえてやっぱり全体的としては合併をして、大きな一つの「河津町小学校」にしていけば良いのではないかと思います。

⑮議長)

今のご意見の確認ですが、統合を前提として行ったとして、統合するまでの間に3校でまとめて、例えば白馬交流とか梅取りとりなどの学校行事をした方が良いという意見ですか。

④委員)

行った方が良いという意見です。子ども達の授業は、校舎が建設されるまでの間は、南小が危ないという話もありますけれど、南小が危なければ東小の校舎を使用して、南小学区の子どもは南小に集まって、南小の子供たちが1台のバスでみんな東小に行けばそれはそれで歩いて通う方が良いとか言う話とか、保護者がいちいち東小に送り迎えをする必要がなくなりますし、向こうでも渋滞するおそれもあります。その事もカバーできるのではないかと思います。

⑮議長)

非常に豊かな発想でいいと思いますが、なかなか現場としては難しいかなと思いますが、そういう発想だという事でご意見を伺っておきます。続いて、⑫委員お願いします。

⑫委員)

人数も少ないですし、この30人弱の子ども達を3つに分けることは出来ないかなと思いますので、統合の方向で進んで行った方が良いと思います。

⑮議長)

いろいろな思いがあるという事は分かります。続いて、⑭委員お願いします。

⑭委員)

私は当初から早急に統合して欲しいと感じています。やはり統合の話になる一番の理由は少子化だろうと私は考えております。東小の現状で考えると今教育の内容も大きく変わって来ています。教員の研修をする時間さえもなかなか取れないし、目いっぱいだという状況で、ゆくゆくは児童にも影響してくるだろうと思います。私が勤めていた頃は、アクティブラーニングという言葉がはやりだしましたけれど何のことだろうと思いましたが、なんかの本を読みますと日本語で、「主体的」、「対話的で深い学習」とありますが、それを聞いても分からない。そういう大きく今ちょうど指導要領が変わる時期に教育内容について、研修する機会や時間が取れないとなると子ども

達に大変大きな影響が出るんだろうなと思います。いろいろな所の研修に参加して、学んでいきますがやはりそういう情報が得られないとなかなか教育の内容を子ども達に反映出来なくなるのではないかと。また併せて、教員が減ると部活動を減らさなければいけないとか、委員会活動も減らさなくてはならないとか、生徒が活動する場がどんどん狭められている事もあると思います。義務教育は分かりませんが、そういう事が懸念されている中で、子どもが少なければよく子どもに目が届くという話も確かにメリットとしてあるんでしょうが、教育環境が変わる中で、適応してそれを子どもに反映させるという事が結構大事であろうなと思います。そういう意味では、教育がそろって、子どももそろっている中で、子ども達を育てていく事が必要であるかなと思います。退職してから結構義務教育の先生方の論文に触れるケースがありまして、藤枝市とか静岡市とか沼津市とかものすごく速く小中一貫校とか義務教育学校とかの議論がどんどんやられていますし、研究論文なんかも読ませていただきましたが、そうやって見ると伊豆半島の中でも東伊豆町が小中一貫校ですとか、西伊豆町が義務教育学校など、どんどん進んで行く中で、何で河津町だけがそういう議論が盛り上がってこないのかな、下田市も中学校が統合しますし、南伊豆町は私はちょっと分かりませんが、やっぱりそういう時代なんだろうな、そういう時代を敏感に保護者も地域も感じ取って、少し考えて将来を見据えていかなければいけない時期に来ていると思います。じっくり時間を掛けてと言う気持ちも分かりませんが、次のステップで専門的な方が入っていただいて、考えていただいた方が良いのではないかと思います。今でなくてもいいので、一つ教えて欲しいんですが、河津南中学校と河津西中学校が統合し、河津中としてスタートを切るまでに14年間、昭和41年から昭和55年といわれておりますが、14年と聞くとかなり長い、敷地があっただいたい条件を整えると5年位かなと思います。普通5年から10年位を見ていけばいいんだろうなと思いますが、14年かかった原因は何か事務局で分かりましたら教えて欲しいです。

⑮議長)

教育長や事務局で答えることが出来たら、ご発言ください。

事務局長)

今答えることが出来ませんので、次回までに調べて回答させていただきます。

⑮議長)

期間が長くなるという事で、大体10年15年という所がありますので、それについての回答は事務局が調べて回答願います。⑭委員よろしいですか。

白井正勉委員)

はい。

⑮議長)

やっぱりいろいろな方が入っていますので、今⑭委員より教員の研修これを資質向上を図らなければ、それがじわじわと子どもに影響するという、その視点が指摘されました。これについては、現職の校長先生も一番苦しんでいるところだと思いますけれど、なかなかそこまでは踏み込んで言えないのかなと思います。ありがとうございました。続いて⑰委員お願いします。

⑰委員)

統合には賛成です。人数も少ないからこのままで行くと3校が統合していないので、統合した方がよいという意見が多いですが、ちょっと少し後ろ向きっぽい感じがありますが、折角新しく統合して学校を造るのだから、新しい学校は他の地区からもあの学校に通いたいと思って、人が引っ越してくるような、人が呼べるような小学校が出来たらいいと思います。

⑮議長)

ありがとうございました。今の⑰委員の考えは、新しい小学校は他の地区からも転校してきてあそこに来たいという魅力化を図りたいという事で、具体的にそのためには、どういうポイントでそこまで踏み込んで答申を考えて行きたいと思います。その所が今後どうしたら魅力化が図れるのか、なぜそんなことを言うのかと言いますと、稲取高校も魅力化を図っているいろいろ苦心さんだんしているところです。危機意識がそこまであるというのが大きな問題ですので、やはり危機感の中で、いろいろ考えればそこらへんが一番大事なものが出てくると思います。その事を委員会でここを何とか大事にしていきたいと、指摘する事が諮問に対しての答申になろうかと思しますので、また考えていただければと思います。続いて、②委員お願いします。

②委員)

自分も統合の方向を望んでいます。今の現状ですと、各校児童が少ないながら最低限の人数をキープできているか分かりませんが、教育が出来ている状況だと思いますので、統合の話が来てもまだ大丈夫という感覚の父兄が多いと思います。委員会となった以上は、今よりは何年も進んだ少子化の現状を考えて、統合で進めて方がよいという考えでいます。もう一つは、いただいた資料の中で、「現状維持を望む主な理由」の中で、「学校の伝統行事がなくなる。(白馬交流・梅取りなど)」とよく聞きますが、これは統合したからと言って必ずなくなる(必ずなくす)のはどうかと思います。各校が伝統になっているのは必要だから継続されているものですので、もし合併したとしても、各学校がどうしてもなくしたくない伝統は継続してやっていったらいいと私は思います。学校の方でも、新しく統合した学校で努力をした方がいいのではないかという考えでいます。

⑮議長)

ありがとうございました。続いて⑩委員お願いします。

⑩委員)

まず一点。⑭委員の方から小規模校だから忙しくて、教育の資質向上が図れないとの話がありましたが、私はそれについてはそうは思っていません。そこは小規模校でも資質向上は図れます。

⑭委員)

東小は、6学級で6人の教員でそこで出張とか悉皆で、カバーできる先生が教頭先生しかいないんですね。例えば、二人重なると不可能に近い訳ですね。教科とかいろいろあると思います。

⑩委員)

出張の事を仰っているんですか。

⑭委員)

そうです。でないと、現状なかなか共有できないと思いますが、違いますか？校内では当然やられているんでしょうけれども、狭い地域ですので、いろいろな地域からの資料で、研修した方がいいのかなと私は思っています。

⑩委員)

そうですね。今オンザジョブトレーニングを校内の中で、研修しましょうと言う所と、出張は勿論悉皆研修はいけないというジレンマがもしかして、東小学校はあるのかなと思いますけれど、その出張に行けないから資質向上が図れないかと言うとそうではないだろうと言うのが、すみません私の考えですけれども、勉強しようと思えば一回の出張に行けなくても、いくらでも勉強をする機会がありますし、資質向上は図れると言う様に私は考えます。

⑭委員)

新しい情報といますか。

⑩委員)

新しい情報も、やる気があればと思います。

⑭委員)

いろいろ授業を見て、こうなんだと当然得るものがあると思いますので、校内で研

修授業を行って得るものも当然あるでしょうし、いろいろ研究され、その研究発表会があらうかと思えます。そう言う所で得るものが非常に大きいと思えます。

⑩委員)

そうですね。本気で研修しようと思ったら、別に悉皆研修（決められた出張）だけではなく、求めていく人はたくさんいます。

⑭委員)

それは、平日でも可能なんですか。

⑩委員)

土曜日・日曜日に研修会がいっぱい行われています。悉皆研修の方はどちらかという、授業と言うのが見られるかと言いますと、見せていただけるものもありますけれども、そうでもないものも今たくさんあるというのが実情です。研究指定校となりますが、多忙化解消のために紙上で発表しなさいとか、授業は見せなくてもいいですよという研究会も今多くなってきていて、本気で授業の事を研究するぞと思ったら、土日に出かけるというのが多くなっているように思います。私はそう言った意味での資質向上のところで言ったんですけれど、すみません少し話がかみ合っていないかもしれせん。

今、⑰委員や②委員がおっしゃったように3校の良さがある、いま私たちの学校が成り立っていると思うんですね。河津西小も東小も南小も、その良さはなくしてはいけないだろうと、そして施設の新しさだけでみんなに魅力的ですよと言うのは、浅はかであろう。河津町ならではの教育は何だろうというところを突き詰めて、教育課程・学校の計画書のようなものですが、そこにこういう教育をしていくんですよ私たちはというものを提案してく、それが新しい発想で、新しい学校になって行くんだらうなと思っています。

⑮議長)

ありがとうございました。ちょっと補足しますが、今二人の委員のご発言を聞いて思いましたが、個人の研修はどこでも意識によってできます。でも⑭委員が指摘したのは、時間的ゆとりを保障せよと出張とか何かとかそういう事ですね。

⑭委員)

出張に出かければ当然補充の先生がつかなければいけません。

⑮議長)

そうですね。時間的なゆとりをやらないと、それは個人の資質向上を自分の思いだ

けではなく、全体はなかなか向上しませんよと言う事なんですかね。今のところは、他の委員の方は、なかなかそのところが理解できなかったと思いますが、あくまでの教員は、資質向上は責務ですから、子どもに対する責任がありますので、全部努力している前提です。ただ学校行政としては、研修に関わってきますので、担保しなければいけないというのは、なかなか人数によってしか生み出せないですよ。働き方改革もありますけれども、前のめりで勉強しようと言えませんので、それを個人でやっていただくのは、なかなかいいんですけれどもという事もありますので、その辺の時間の確保というのは、大きな視点かなと思います。

⑩委員)

すみません。私は納得できません。

⑮議長)

そうですか。まあなんと申しますか、悉皆研修は遠くにある「あすなろ」まで行くんですけど、地元ならば、ぱっぱっと行き帰りが出来るんですが、こちらからですと前泊とかいろいろあるんですが、それを含めて時間的制約は伊豆半島の永遠の課題になっているかなとそんなふうにおもっております。

⑩委員)

でもそれって別に、新しい学校になったからと言って、立地条件は変わらない訳ですよ、河津に学校が出来るんですから。

⑮議長)

それはもっと全県の教育の問題です。子ども達もそうですが、教員もやっぱり、伊豆半島というハンディを持っています。でもいいますと各地区の静岡に無い伊豆の良さもありますので、ハンディを逆に武器にしてやっていくしかないと思いますが、それは個人的なかんがえですけど。

それでは、先に進みます。よろしいですか

⑩委員)

はい。

⑮議長)

それでは、続いて⑩委員お願いします。

⑯委員)

私の子どもは、東小に通っていますが。私も子どもも東小が大好きで、伝統の行事

の白馬交流も含め、たくさん良い行事もあるし、それだけではなくって他にも自慢のできる凄く良いところが沢山あるので、統合には凄く賛成ですけど、自分が小学生の時は、全校で 600 人位いる学校だったんですけど、自分が小学校を卒業して今思う事って、自分の小学校が何か自慢できる、自分の学校はこんな良いことがあったよって、自慢のできる事が一個でもあったかなって思って振り返った時に、東小はこんな良い所がいっぱいあるよと自慢できることは素敵な事だなんて思って、統合には賛成なんですけれど統合した後も統合してよかったねってみんなで思える、誰かだけが思えるのではなくって、3校が思えるような学校づくりを目指してやっていけたらいいなと思います。

⑮議長)

わかりました。統合とかになっても学校それぞれが自慢できる学校、子ども達が自慢できるような学校になって行くのは、大きな目標であると思われまますので、それが大事なかなと思います。続いて①委員お願いします。

①委員)

基本的に私も統合に、進んで行くのではないかと思います。今までの話の流れをたち切ってしまうかもしれませんが、飛躍的な意見かもしれませんが、今回この委員会の中で統合に向けて進んで行くのであれば、正直な話小学校だけではなく幼稚園や中学校をすべて含めて、要するに幼稚園が少なければ、小学校も少ない、それからどんどん行けば中学校も少ない現状は変わらないと思います。河津と稲取が一緒にならない限りは変わらないと思います。トータルで考えた時に、幼稚園・小学校・中学校すべてを含めて含めての統合と言いますか、一箇所にあつめるとか総合的な意見もどうせならこの機会、進めていくのもいいのかなと思います。ちょっと凄く飛躍的な意見かも知れませんが。どうせならこういう機会と言うのもちょっと一つの意見かなと思います。伝統の話もありましたが、ちょっとそこまで含めると難しいか分かりませんが、立地条件もこの夏といい、これからどんどん地震なんかは予測できませんが、天災の台風ですとか気候の問題もありました。津波、津波と言いますが、津波だけではなく川もあります。今まで河津はそんなではないかと思いますが、これからは予測ができないような天候ですし、異常な事もあろうかと思われまますので、その事を踏まえて、一箇所に本当に安全な所に集約するのも一つの意見かなと思います。ちょっとごめんなさい飛躍的すぎるかもしれません。

⑮議長)

飛躍的な意見ではありません。貴重なご意見だと思います。幼小中一貫と言いますか、同じところにまとめるという発想ですか。

①委員)

そうですね。どうせならそういった意見も良いのではないかと思います。

⑮議長)

これから答申について、様々なそういう様な事を附記する意見と言いますか、それをたたき台にする為に、皆様のご意見を集約したいと思います。それでいいですか。

①委員)

はい。後一つ聞きたかったんですが、今の話とは矛盾する部分もありますが、今の気温とかの関係もありますが、エアコンを各校に設置する、しないとこの夏騒がれたんですが、小学校も近いうちにやるという話も聞いています。統合に合わせて凄く矛盾するところがありますが、その辺の事はどうなっていますか。

⑮議長)

エアコンの設置について、河津町を含めてなにか近隣の市町の情報があれば、教育長よろしいですか。

教育長)

この間の9月町議会で議員より質問がありました。教育委員会も来年度に向けてそれぞれの普通教室を中心に、エアコンは導入したいなと言うふうな回答をいたしました。それはなぜかと言うと、今ここで検討して頂いているこれからの子どものことも大事ですが、いままも小学校や中学校に通っている子どもも大事です。

①委員)

具体的にはいつと言うのは決まっていないのですか。

教育長)

来年度に出来れば導入したいなと考えています。

①委員)

はい。

⑮議長)

議会で要望して、それに対して早ければ来年度からという所までいっているでしょうか。

⑬副委員長)

予算が通ればですね。

⑮議長)

予算が通ればですか。

⑬副委員長)

予算を要求した時ですね。

①委員)

わかりました。

⑮議長)

議会で予算要求が認められれば、確実に来年度から設置という事になります。ただ予算が通るどうかまだ分かりませんが。

教育長)

まだ通っていません。これからになります。

⑮議長)

そうですね。この事が今の現状です。続いて、⑨委員お願いします。

⑨委員)

先程出張の件もありましたけれど、東小は担任が6人という事でそのような事を言われたと思いますが、教頭も3年生から6年生までの理科を持っていて、週10時間分を教頭が持っている中7名の指導者中6学級の授業を行っているのが現状です。出張が行きにくいとは確かに1名少ない事があるんですけど、ただ夏休みには主体的・対話的で深い学びの為の実現の為の出張に全員悉皆で行きました。県外出張も全員がこれから行く予定でいます。教頭が授業をしたり、足りない時には養教が保健指導をしたり、チーム東小でみんなで行っていくという所でやっていますので、少ないからと言って資質向上が図れないと言われても少しつらい所が一つあります。それから要望カードの方の中でも、複式だからとか小規模だから学力がつかないと意見もあるんですが、職員はそれを理由にするものはないです。それを理由にして人数が少ないから複式だからという事で、学力がつかないという事は、教員の怠慢であり私たちはその環境の中で、必ず他のお子さんと同じように教育をしていくという所で、頑張らなければならないと思いますし、またどうしても駄目な時には教育委員会にお願いして町費で1名雇っていただければ、そう言う不利な所はなくなるという事です。

今話を聞いていますと東小の子ども達の学力がと言うふうに聞こえましたので、ここはすみませんが少し言わせていただきました。それから未来の事です、要望カード等で保護者の方や地域の方の創意と言うものは感じているところですが、主役である子ども達の気持は分からない状態です。子ども達はと言うと3校すべてだと思いたすが、色リーダーをやりたいですとか、東小は白馬交流で友達を作りたいですとか、音楽発表会をがんばりたいですとか、次年度の目標や希望を持って進級していると思いたます。その子ども達が新しい環境になった時に、例えば学校がなくなるという寂しさが強いという所はかわいそうと思いたますので、新しい環境に希望が持てるように、新しい環境を楽しみに出来るような、その提案をどう出来るかという所がこれから大事な所だと思いたます。

⑮議長)

ありがとうございました。続いて⑥委員お願いたします。

⑥委員)

これって難しいですよ。私も小規模校と言われる東小学校で、木造校舎で卒業いたしました。私の子どもも3人おりまして、全員白馬交流を経験いたしています。長男の時には、白馬南小です。白馬小は40年近くたって2学年になってスキーを教えて貰って、なおかつ親御さんもついてもらって、1人に対して3人の指導者がついて非常に恵まれた状態でした。そういう意味でも、小規模校でも悪い事はないと思いたますし、交流の中でも、いい事がいっぱいあったんだろうなと実際親として見てもそう思いたました。一番心配だったのは、三男の頃には統合の話も出ていたましたし、その子ども達がせめて白馬交流をしてから統合して欲し位の親のエゴもありました。そういう事も他の地区でも先程出ていたましたけれど、白馬交流は学校を統合しても出来ると思いたますし、良い行事を行えばいいと思いたます。要望カードとか何とか言うけれど、統合して欲しいな言うのが大半の意見だと思いたます。以前にも言いたましたが、統合してもこのまま河津町の少子化が進むとなると、統合した学校も小規模校になるおそれが非常に高くって、先程の①委員の意見に私は賛成なんです、どうせやるならおにいちやん達が下の子を見てくれる、特に東小はそうなんです、上の子が下の子を見てくれる、そうなると親としても、3.11の東日本大震災を経験した親としても、やっぱり同じ敷地内に幼稚園・小学校・中学校があるという事はそうなるのかなと思いたます。私たちの今回の河津町学校教育環境整備委員会では、学校校舎の建設までは答申までは含めれませんよ。

⑮議長)

そうですね。それは、次のステップです、それはまた事務局より説明があります。

⑥委員)

そうなりますと、私たちはこの要望カードを見ていて、私の意見ですが、統合はするべきだと思います。地域の区長としてのエゴもあって、最初に話もさせていただきましたし、統合するのであれば、統合に向けて一番いい条件で、校舎の建築であり、通学の方法とか、ここにある統合に消極的な意見、やむをえず統合してもいいよと言う意見の中にも「ネガティブ」をいかにして消すか、通学の問題、安全安心の問題という事も、逆に言うとバス通学をするから体力が低下すると言う言い方を先程でどなたか言われていましたが、一箇所に集まってそこまでは徒歩で何も「ドアツウドア」で通学するのではなくって、その事も含めて「ネガティブ」を消す方向で、統合について考えいただきたいなと思います。この中の意見を聞いても、アンケートをとっても、統合はやむなしと言い方ではなく、統合は避けられない問題だと思えますが、まず先ほども意見がありましたけれども、今の子ども達の事も考えて統合すると言っても、先程の河津中学校を統合するのに非常に時間がかかりましたので、取合えずこの意見の中にありますように、エアコンとか施設を統合すれば経費が下げられるとありますが、統合を待っていたらエアコンを設置出来ないとしたら、今年の夏の事を考えると一刻も早く設置してあげたいと私も考えます。そう言う意味で、後の校舎の建設とかスクールバスですとか、そこまで考えてお願いしますよという次のステップの委員会になるのかなと思いますので、答申として提出する時にそれは入れていただきたいです。私としては、そこになるのではないかと思います。

⑮議長)

ありがとうございました。続いて、⑬副委員長をお願いします。

⑬副委員長)

本当にありがとうございます。皆様の意見もそうですし、地域の方々の意見を聞きに言った時に統合の方向は仕方がないな、この人数では仕方がないなと言う意見でした。この委員会が教育環境をどう整備するか、お題目の委員会ですので、小学校の統合を契機にして、いろいろな幼小中の教育環境をどう小学校を中心に高めていく方向がやはり良いのかなと思います。やはりもう一つは、既存の校舎を使うというよりも新しい場所を探して、校舎を建設する方向は避けられないかなと思います。そう考えて行きますと、中学校の近辺を視野に入れた次の会議で検討し頂けるような方向性がある程度出して行った方がこの委員会の意義が出てくるのではないかなと思います。そういう中で、河津町の全体教育を提案できるような事も盛り込みながらこういう様な学校作りを進めて欲しいなという所へ盛り込んで行ければ、この会の意義があったなと思います。そんなところを感じております。

⑮議長)

ありがとうございました。今の委員の方々のご意見、今まで積み重ねたご意見、これをどういうふうにまとめて行って答申を作るか、皆様の意見を聞いたところほぼ統合が良いだろうという立場が示されたと思います。ただし、そこにはいろいろな思いがありますので、今いみじくも⑥委員が言われました、そうじゃないよネガティブがまだある、統合はしたくないんだというそういう方にとっても、これならば統合した方が良いかなと思われるような答申を作るというのが一番大きな問題だろうと思います。その為のたたき台を今後作ろうと思います。最低そのたたき台を2回は皆様ともんで行く必要があるかと、1回では足りないと思います。そうすると、丁寧に行うのには最低2回と言うふうに考えて時に、今後の日程が非常に大きな問題になるかと思えます。スケジュールと言うのは、答申を受けた後、具体的な学校をどうするか内容を含めてですけれど、それを委員会が教育委員会に渡られて答申する訳ですが、その後の動き、それからもう一点は直接的に答申をまとめるスケジュールこの辺りについて事務局から説明願えればと思います。

事務局長)

あくまでも予定ですので、これがすべてという事ではないと思って下さい。今私たちはこの委員会の話を聞いていますと12月に答申を頂きたいと思えます。11月に定例の委員会がありますが、その前の10月頃に答申の叩き台を提出させていただいて、それをもんでいただきたいと思います。臨時会を10月に行って定例を11月に行って、答申を頂きたいと思えます。それを踏まえて、定例教育委員会と町長を含めた総合教育会議に提出し、その後仮称ですが小学校の統合検討委員会を開催したいと思えます。

⑮議長)

もう一度確認いたしますが、私は答申を出すまでに2回は会議が必要だなと言いましたが、それは11月12月と言う形がいままであったじゃないですか。

事務局長)

11月と1月です。

⑮議長)

2回会議を行って、12月に答申となると臨時会を10月に行うという事ですか。

事務局長)

はい。臨時会を開いていただければです。

⑮議長)

そうしますと、10月11月の2回たたき台をきちんと行って、今までの意見を基にたたき台をきちんと作る、それを10月と11月の2回にもむと、その次の12月の定例教育委員会に答申を提出すると、大雑把な予定ですね。

事務局長)

そうです。それと合わせて、こういう様な答申が出ましたよと、総合教育会議にも提出いたします。

⑮議長)

と言う様な事務局の案ですが、ご意見があればお願いします。

⑥委員)

一番最初に2箇月毎、今回が3回目9月12日、4回目が11月14日、5回目が1月9日、6回目が3月13日と一番最初にとりあえず6回の予定をしていますが、それを12月に答申を提出するのに決まったのは何かありますか。

事務局長)

今までの会議の話を聞かせていただきますと、先程議長の方からも話がありましたように12月にさせていただきましたけれど、12月と言うのは事務局の案ですので、それが出来ないと言うのであれば、委員の方で決めていただければと思います。

⑮議長)

一応予定は、11月・1月の年度内にという事でしたが、それをある程度前倒しにして、少し急ごうという形です、積極的という事です。そういう形ですけど⑥委員よろしいですか。

⑥委員)

分かりました。

⑮議長)

という事は、10月・11月の2回委員会を開いて、12月の定例教育委員会前に答申を提出するという事ですね。それと合わせて、町長と教育委員の総合教育会議に提出するという事ですね。

事務局長)

はい。

⑮議長)

と言う様な予定のスケジュールですが、ご意見ありますでしょうか。実話答申案を2回もんでですが、原案を取りまとめているところですが、事務局で今までのたたき台を作るのに、その時に見せられてもなかなか目を通して大変だと思いますが、何かアイデアはありますか。

事務局長)

案としては、委員長から原案をいただければ、10月に開催する前に委員の方に送付させていただきます。

⑮議長)

今までのまとめるという事を含めて、ある程度事務局で過去のものをまとめていただければと思います。たたき台は私も目を通しますが事務局で原案を作成して、10月の委員会前に委員の方々に送付し、その原案に目を通して、10月の委員会に望むという事ですね。

事務局長)

はい。

⑮議長)

という事ですが、大丈夫でしょうか。

⑧委員)

良いですが、10月はいろいろ祭りとかありますが、その辺を調整した方が良いと思います。

⑮議長)

秋祭りがありますし、この顔ぶれを見ますといろいろ地区の区長さんですとか地区の役員の方がおります。

⑧委員)

今までに予定されていれば問題ないでしょうが。

⑮議長)

ある程度ここで、祭りの日程や区長さんも祭りに出られますので、最優先で皆様が集まれるところで、ここは駄目だと言う日を考えながらやるしかないのかなと思います。全員が出席するのは難しいですし、本日も欠席されている委員もおりますし。

事務局長)

もし、10月の臨時会の開催は難しいと言うならば、10月はやめて、定例の11月と臨時会を12月に開催する事も出来ますし、10月であれば第2週の10月10日(水)を時で良ければ開催したいと思います。

⑮議長)

もう一度お願いします。10月ならば。

事務局長)

10月10日(水)になります。

⑮議長)

小学校は何か行事がありますか。

⑨委員)

私たちがこの時間で出席するのであればいいと思います。

⑮議長)

それでは、秋祭りの前と言う事で、事務局から提案の合った10月10日(水)でよろしいでしょうか。

事務局長)

議長はよろしいですか。

⑮議長)

出来れば10月9日(火)の方が良いかなと思います。職責ですので、皆様に合わせますが、10日言うのであれば10日で調整いたしますが。

①委員)

そうしますと、資料的なものはいつ来る予定ですか。

事務局長)

会議録と一緒に送付したいと思いますが、会議録の作成が間に合わない場合は、答申案を先に送付した後に会議録を送付させていただきます。

⑮議長)

答申案の骨子は、統合と言うのがメインになり、そこに附記がいろいろ、複式学級

のメリット・デメリットも考えられると思いますが、問題なのがその後の付記事項になります。そこに今までの委員会での意見をどういう形で載せるかと言うのが一番大事だと思われま。す。ですから、その辺りのところを含めて今までの会議録を見てそれを整理するだけですので、何とかなるかと思。います。

事務局長)

それでは、10月10日(水)の19時からでお願いします。

⑮議長)

それでは、10月10日(水)臨時会を19時から行。います。11月は予定どおりでよろ。しいですね。10月と11月の2回、たたき台をもむと、それについては、各委員の方々のいろいろな意見をぶつけていかなければと思。いますので、出来れば文言のところまで踏み込んでやれるかどうかにかか。っておりますので、よろしくお。願い。します。

今後の予定についても行。きましたが、2)その他ですが、何かありますでしょうか。よろ。しいですか。

各委員)

はい。

⑮議長)

議事 2)その他については、特になしという事。で、議長をお返ししたいと思。います。今後の予定についてもう一度確認をお。願い。します。

事務局長)

今後の予定ですが、先程ご審議いただきました通り、平成30年10月10日(水)19時から文化の家生涯学習室で行。いますので、よろしくお。願い。します。

それでは、次第6 閉会の挨拶を⑬副委員長よりお。願い。します。

⑬副委員長)

本日は、ありがとうございました。次回は10月10日なんです。が、たたき台が出てきます。が、先程板垣委員からあ。ったように、新しい魅力ある学校を造るためには、ど。うしたことがあ。つたらいいかなと言。う具体的な事が、こんな学校にしたいなとか、こんな事は絶対欲しいよな。って、あたりを皆様の思。いを次回に持。ってきていただいて、たたき台と一緒に考え併。せると、これからの河津町の新しい学校造り、楽。しくな。ってくるのではないかなと思。います。ぜひ、よろしくお。願い。したいと思。います。本日は、お疲。れ様でした。